

第1部 13:00~14:30

第2部 14:45~16:15

上映会「荒野に希望の灯をともす」
～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～



百の診療所より
一本の用水路を

ペシャワール会 名古屋
会長
五井 泰弘

わっぱの会
代表
斎藤 縣三

前半
対談



南山大学SDGs普及
啓発団体 CLOVER
会長
本田 光

南山高校 女子部
小川奈津子



後半



参加者全員によるグループトーク



コーディネーター
Keramago Work
代表 白川陽一

映画や対談の
内容を受け
その場で
感じている
ことを
分かち合います！

お申込はこちらから

先着 50 名
締切り
12/23(金)



参加費

一般 1,000円
学生・18歳以下
無料

※今回は託児がありません。
未就学児はご遠慮ください。

2022年12月26日(月) 13:00~16:15
(12:30開場)

ソーネおおぞね ソーネホール※詳細は裏面をご覧ください。

終了後

ソーネカフェで交流会を開催
飲食実費・退出自由

共催

ペシャワール会名古屋・わっぱの会
南山大学SDGs普及啓発団体CLOVER
子ども・未来応援団

【お問い合わせ】 世代を超えた語り場 事務局

katariba.for.everyone@gmail.com

TEL・FAX 052-933-6226



中村 哲



1946年生まれ 医師 1984年パキスタンのペシャワールに赴任しハンセン病の治療やアフガン難民の診療に従事。ペシャワール会現地代表としてアフガニスタンにおける水路建設など復興事業の先頭に立つ。マグサイサイ賞など受賞多数。2019年12月4日アフガンで凶弾に倒れ逝去



「人は愛するに足り、真心は信ずるに足る」岩波書店

『あとがきに添えて』（2010年1月29日ジャララバードにて中村哲）より

アフガニスタンは日本人にとって最も解りにくい国の一つである。様々な意見や解釈が飛び交い、実像をつかみにくい。いわば「情報の密室」である。しかし、今アフガニスタンで進行している出来事は、やがて全世界を巻き込む破局の入り口にすぎない。

（中略）世界中で「グローバル化」の功罪がささやかれるが、その不幸な余波をまともに受け続けているのが、この国である。「アフガニスタン」は、良きにつけ悪きにつけ、一つの時代の終焉と私たちの将来を暗示している。（中略）もし現地活動に何かの意義を見出すとすれば、確実に人間の肉体に肉迫する何ものかであり、単なる国際協力ではなく、私たち自身の将来に益するところがあると思っている。人として最後まで守るべきものは何か、尊ぶべきものは何か、示唆するところを汲んでいただければ幸いである。

ペシャワール会

1983年9月中村医師の
パキスタンでの医療活動を

支援する目的で結成された国際NGO団体。マリリアが大流行した際には、治療薬の資金を確保するため、大々的な募金活動を展開。基地病院としてPM S（ペシャワール会医療サービス）病院をペシャワールに建設。干ばつに見舞われたアフガニスタンの村々で水源確保事業を開始し、飲料用井戸と直径約5m灌漑用井戸を掘削、カレーズ（伝統的な地下水路）の修復。2001年には「アフガニのいのちの基金」を設立し、空爆下、アフガニスタン国内避難民への緊急食糧配給を実施「緑の大地計画」のもと水利・農業振興事業を進め、今では60万人の人々の生活を支えています。



わっぱの会



障害のある人たちが山中の施設や家に閉じ込められていた50年程前学生ボランティア活動を通じてその現状を知った斎藤代表が、街の中で「共に生き・働く」ことをめざして名古屋市昭和区の一軒家において障害のある人ない人3人で共同生活を始めたのが当会の始まり。以来障害のある人ない人が共に生活する場・共に働く場をつくる実践活動を展開し様々な福祉制度の制定に先駆けて必要な支援等を実現してきました。「わっぱ」とは、「いつまでも子どもの純粋な心を持ち続けて輪になる」の意。近年は、障害のある人とどまらず誰もが差別や排除を受けずに地域の中で共に支え合って生きる共生社会の実現をめざして新たな歩みを進めています。

南山大学SDGs普及啓発団体 CLOVER

私たちは、SDGs実現のため、年代・立場の垣根を越えたネットワークの形成を図り、社会における連携・協働の架け橋となることを目的として、総勢約200名のメンバーで活動しています。中学校や高校でのSDGsをテーマにした出前授業の他、エシカル消費の推進や子どもたちの学習支援・子ども食堂ボランティアへの参加、ダイバーシティ及び多文化共生の推進など、幅広く取り組んでいます！



子ども・未来応援団



2021年4月に活動を開始したボランティア団体。ソーネおおぞねで生活困窮世帯の子ども達の学習支援やお楽しみタイム・手作り炊き込みご飯などの配布・フードバンク「セカンドハーベスト名古屋」の御協力を得てフードパントリーや近隣のヤングケアラー・ひとり親世帯への食品のお届けも行っています。



子ども達と楽しい時間を共有し、困ったらSOSを出す・助けてと言える信頼関係を築くことが目標。高齢女性スタッフが中心ですが、南山大学・高校をはじめ新たな繋がりも生まれています。

地域交流拠点 ソーネおおぞね

わっぱの会が運営！
赤ちゃんからお年寄りまでさまざまな人が集まる「ごちゃまぜ交流の場」をめざしています！

名古屋市北区
山田2-11-62
大曾根住宅 1棟1階
TEL 052-910-1001
Fax 052-910-0018
info@sone-ozone.com

最寄りのコインパーキングまたは公共交通機関をご利用ください。